庶民のまち十条のまちづくり

住民を置き去りでなく

だれもが納得できる計画に

党区議団主催の十条まちづくりを考える学習交流会 ＝2016年11月10日

高架による鉄道立体交差化と付属街路、補助 85・73 号線の建設・拡幅で 400 軒を超える住民を立ち退かせ、3 つの商店街を壊滅・寸断に追い込む現在の十条まちづくり計画。昨年 11 月に党区議団が開いた十条まちづくりを考える学習交流会では、参加した地元住民から見直しを求める声が相次ぎました。

まちづくりは住民こそ主役です。日本共産党北区議員団は、住民が納得できる計画にするため、全力をつくします。

計画の見直し求める住民の運動、次々と

地元では、超高層による「西口再開発を見直す会」、73 号線の地権者や沿線住民が中心となってつくる「庶民のまち十条を守る会」に続き、昨年 11 月には新たに鉄道高架付属街路沿線の地権者らによる「埼京線とまちづくりを考える会」が結成されました。

計画の見直しを求める住民の運動が大きな広がりをみせています。

十条銀座アーケード街での対話宣伝

住民本位の十条まちづくりへ　日本共産党は提案します

❶鉄道立体交差は「地下化」で

「地下化」は JR が国鉄の時代からの北区との約束です。十条の東西一体化、騒音解消など住環境向上のためにも、高架ではなく地下化にすべきです。

❷85号線は現道の18m幅員に

突如しめされた 30m への拡幅計画で、いちょう通り商店街が壊滅に追い込まれます。鉄道が立体交差化されれば現道幅員で何ら問題はないはずです。

❸補助73号線は計画撤回を

いま暮らしている 180 軒もの方に立ち退きを迫り、仲通り商店街、富士見銀座を寸断する特定整備路線。住民合意のない道路計画は撤回を求めます。

❹西口再開発は地権者の合意で

40 階 147m の超高層ビルが十条駅前に必要でしょうか？　計画に同意していない 3 分の 1 の地権者を強制的に事業に参加させることも大問題です。

❺住民の声をまちづくりに生かす

現在の十条まちづくり協議会全体協議会は、ブロック部会の意見を反映していません。あらゆる住民の声をくみあげる、新たなしくみが必要です。

住民の声が生きる区政に

本年もよろしくお願いいたします

日本共産党北区議員団

子どもの貧困対策が前進

昨年は、子どもの貧困対策計画の策定や保育園待機児緊急対策、障がい者グループホームや区営シルバーピアの用地確保などの区民要望が実現しました。引き続き、就学援助の前倒し支給、国保・介護の負担軽減、プレミアム付き商品券の増冊など、くらし応援の区政実現に全力をあげます。十条まちづくりや特定整備路線などの道路建設では、徹底した住民参加を求め、合意のない計画は見直しを迫ります。

強行採決を繰り返す安倍政権の暴走、豊洲移転や東京五輪経費の見直しなど都政の諸課題も山積しています。今年も、他の野党や区民・市民のみなさんと力をあわせ、共同の力を大きく育てていきます。

赤羽体育館いよいよオープン

志茂3丁目に建設中の赤羽体育館（**写真**）。待ちに待った新しいスポーツ施設が、この2月にいよいよオープンします。

日本共産党北区議員団ニュース

2017年新春号

発行:日本共産党北区議員団

〒114-8508 北区王子本町1-15-22

暮らしの願い、実現に全力

区民の声、議会に届ける9議席　日本共産党北区議員団

北区議会第4回定例会

昨年 12 月 5 日に閉会した区議会第 4 回定例会。日本共産党北区議員団から、やまき直人区議が代表質問に、山崎たい子区議、野口まさと区議が個人質問に立ち、暮らしと福祉、まちづくりなどの問題で切実な区民の願いをとりあげ、花川区政の姿勢を質しました。

医療　国保料値上げストップ！

特別区長会に保険料の引き下げを求める

2018 年度から国保制度を都道府県単位に「広域化」する方針は、保険料値上げや徴収強化、医療抑制につながるものと、区長に撤回を迫りました。あわせて多子世帯などへの保険料軽減のため、均等割の減額制度の実施を提案。また、特別区長会に対し、高すぎる保険料の引き下げを求めました。

子育て　保育園の待機児解消を

認可園の増設、保育士給与の引き上げを

認可保育園の増設では、区役所分庁舎の旧校庭を利用した音無つぼみ保育園、区立あじさい荘の隣に建つ清水坂つぼみ保育園、王子本町保育園分園が、新年度から開設となります。区有地などを活用し、私立の認可園も誘致します。区の正規保育士 80 人の募集では、500 名を超える応募となりました。保育士確保は処遇改善が要です。

介護　介護保険の改悪許すな

区独自の介護予防事業はサービス水準堅持を

要支援の方に引き続く、要介護 1･2 の訪問介護などの介護保険はずしに対する介護関係者らの厳しい声を紹介し、これ以上の制度改悪を許すなと求めました。また、新年度導入される要支援者への区独自の介護予防事業については、サービス水準を堅持し、利用者・介護事業者ともに納得・合意できるものにすることを求めました。

保育園併設の特養ホーム開設へ

今年の 4 月、旧北園小学校跡地に、特養ホームと保育園が開設します。隣には北区立シルバーピア、手前には北園児童遊園が。それぞれ完成まぢかです。

要望書を提出する党区議団と、そねはじめ都議（左から 5 人目）

花川区長に新年度予算要望

日本共産党北区議員団と、そねはじめ都議は昨年 11 月 22 日、花川区長に 9 つの柱 405 項目からなる 2017 年度北区予算編成に関する要望書を提出しました。

要望書を受け取った花川区長は、「いずれも住民のみなさんから寄せられた切実な要望と受け止め、新年度予算の編成において検討したい」とのべました。

感震ブレーカー設置助成、コミュニティバス新路線の検討を

新年度の予算編成にあたっては、首都直下地震対策として出火を防ぐのに効果的な感震ブレーカーを設置するための助成措置や、赤羽駅と浮間舟渡駅を結ぶ国際興業バス赤 06 便の廃止を受けた区民の足を守るための新たな交通対策として、コミュニティバスの新規路線を検討することを強く求めました。

お困りごと･ご相談は
お気軽に地元の区議へ

日本共産党北区議員団
TEL 3908-7144
FAX 5993-0280

日本共産党北区議員団　検索

宇都宮　章
神谷3-10-8-401
090-4127-7550
神谷、東十条1～4、王子1丁目4～28番、2丁目1～20番、同23～32番、3丁目1～19番、4丁目1～24番、王子5、豊島1丁目1～11番

さがらとしこ
赤羽北3-23-17
3905-0970（事務所）
桐ヶ丘、赤羽台1･2丁目、3丁目19～30番、同17番74号を除く17番全部、赤羽西5･6丁目、赤羽北3丁目

ながいともこ
浮間3-1-54-302
080-4429-6338
浮間、赤羽北1･2丁目、赤羽西1～4丁目、赤羽台3丁目1～16番、同17番74号と18番、赤羽台4丁目

野口 まさと
東十条5-16-10
070-5658-0603
上十条、中十条、十条台2丁目、十条仲原、岸町2丁目、西が丘、東十条5･6丁目

のの山 けん
岩淵町22-31-401
090-2156-3510
赤羽、赤羽南、岩淵町、志茂

福島　宏紀
豊島5-4-1-615
090-1206-6925
豊島5丁目、6丁目8～15番、7丁目15～33番、豊島8丁目、王子3丁目20～24番、4丁目25～28番、王子6丁目

本田　正則
田端3-4-12-305
090-9240-8066
田端、中里、西ヶ原、上中里1丁目、東田端、田端新町、昭和町

やまき 直人
滝野川2-34-4-201
3917-9827
滝野川、王子1丁目1～3番、王子本町、岸町1丁目、十条台1丁目

山崎 たい子
豊島7-19-10
090-2160-1292
豊島1丁目12～39番、豊島2～4丁目、6丁目1～7番、7丁目1～14番、王子1丁目29･30番、2丁目21･22番、堀船、上中里2･3丁目、栄町